0　PhotoImpact 10用　DVDメニュープラグインについて

このプラグインはPhotoImpact 10上でユーリードシステムズのDVD作成ソフトに対応するDVDメニューを作成するためのツールです。チャプターやテキストの位置を自由に配置してオリジナルなDVDメニューを作成することができます。

【対応するDVD作成ソフト】
DVD Workshop 2/Workshop 2 Professional
DVD MovieWriter 3 /3 SE/2 LE
VideoStudio 8

目次

0．DVDプラグインについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0
1．DVDプラグインのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2．DVDメニューの定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
3．背景の作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
4．DVDメニューの作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
(1)シーンの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
(2)シーンナンバーの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(3)テキストの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(4)タイトルの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(5)ページ番号の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
(6)ナビゲーションボタンの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
5．DVDメニュープラグインの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
(1)テンプレートのプラグインの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
(2)オブジェクト名の割り当て・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
a.背景 - 背景画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
b.背景 - グローバル設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
c.背景 - メニューオーバーレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
d.シーン - シーンボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
e.シーン - シーンハイライトイメージ・・・・・・・・・・・・・・・・8
f.シーン - シーンフレーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
g.シーン - シーンテキスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
h.シーン - シーン番号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
i.ナビゲーション - ナビゲーションボタン・・・・・・・・・・・・・10
j.ナビゲーション - ナビゲーションハイライト・・・・・・・・・・・10
k.その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
(3)プレビューをしてエクスポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
6．作成したDVDメニューファイルを他のDVD作成ソフトで使用する ・・・11
7．DVDメニューファイルの使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(1)DVD MovieWriter 2 LE ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(2)VideoStudio 8 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(3)DVD MovieWriter 3 /3SE ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
(4)DVD Workshop 2/Workshop 2 Professional ・・・・・・・・・・・・13
8．DVDメニューファイルを使用する場合の注意点・・・・・・・・・・・・14

PhotoImpact® 10 DVDメニュープラグイン　初版 2005年2月

© 1992-2005 Ulead Systems,Inc.

不許複製。本書の一部またはすべてをUlead Systems, Inc の文書による許可なく、フォトコピー、記録、復元システムへの保存を含め、電子的または機械的方法により再生または転送したり、いかなる形態によっても他の言語に翻訳したりすることは禁止されています。

1 DVD メニュー プラグインのインストール

1．インストールの方法
PhotoImpact 10がインストールされており起動していない状態で、ダウンロードしたDVDメニュープラグインプログラム（mdt2_jap.exe）をダブルクリックしてください。DVDメニュープラグインのインストールが開始されます。
インストールが終了したらパソコンを再起動してください。

2．インストールの確認

本プログラムをインストール後に、「PhotoImpact 10」を起動して、「ファイル」→「新規作成」等で何らかの画像を展開した後に、「効果」→「DVD メニュー」を確認してください。

2 DVD メニューの定義

DVDメニューを設定する際には必ず作成しなければならない「オブジェクト」が複数存在します。
これらの設定を外れると、必ずエラーが発生し正確に再生されませんのでご注意ください。

これらの項目を確認するためには、「PhotoImpact 10」の「レイヤーマネージャ」で確認を行います。（作業は次ページから順を追って説明します。）

--「PhotoImpact 10」で最低限作り上げるもの--

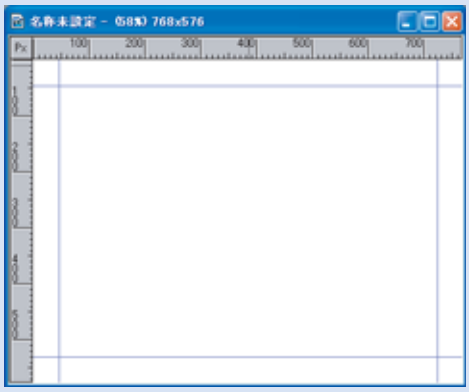
■背景（BackGround）
768X576ピクセルの背景イメージが必要です。（ベースイメージとは別に作成します。）
■シーン（Scene）
DVDメニューで設定する為の動画（チャプター）を表示する場所です。（最低1つは必要です）
■シーンナンバー（Number）
シーンに設定する数字です。（最低1つは必要です）
■テキスト（Text）
シーンで登録した「動画」の名前を表示する場所です。（最低1つは必要です）
■タイトル（Title）
DVDメニューで表示するタイトルを定義する場所です。（最低1つは必要です）
■ページ番号（Object PageNumber）
DVDメニューは、同じメニューが複数の場合も考えられるので、ナンバーを設定する必要があります。（最低1つは必要です）
■ナビゲーションボタン（Menu/Previous/Next/PlayAll）
（ホーム/戻る/再生/次へ/）で、DVDプレーヤーの動きを制御します。

以上7ポイントは必ず作成してから、DVDメニューの設定を行います。

3．背景の設定

■新規に作成する場合

DVDメニューを作成する際に使用する背景は、768X576ピクセルで定義する必要があります。
PhotoImpact 10を起動して、「ファイル」→「新規作成」→「新規DVDイメージ」を選択すると、768X576ピクセルで定義された画面が出現します。



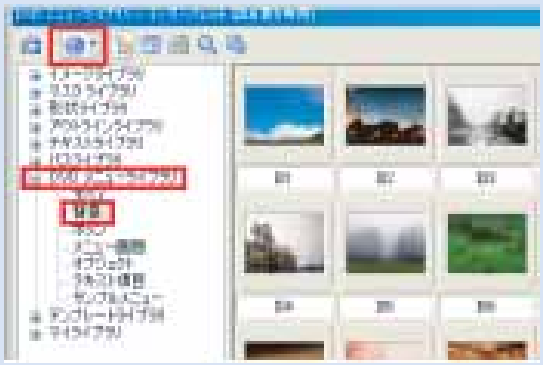
表示した画面は、右図にように、定規（ルーラー）と、青色の線（ガイドライン）が定義されます。ガイドラインはDVDメニューを設定する場合の領域を表示しています。背景以外の配置は、ガイドラインより内側に設定しなければいけません。

この背景をベースに作業を進めていきます。

■テンプレートを使用する場合

PhotoImpact 10は768X576Pixelの背景サンプルを用意しています。
「イージーパレット」-「オブジェクトライブラリ」-「DVD メニューライブラリ」- 「背景」です。
これらを「ドラックアンドドロップ」すると、設定されます。

「イージーパレット」-「オブジェクトライブラリ」-「DVD メニューライブラリ」- 「背景」

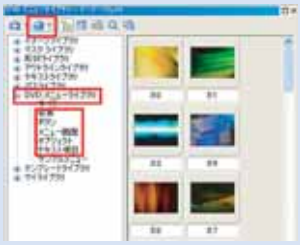


4 DVDメニューの作成　(1)シーンの設定

シーンはDVD メニューを作成する場合に使用する動画を割り当てる部分です。DVDメニュー上ではチャプターを呼ばれる部分です。

「PhotoImpact 10」には「シーン」を定義する「サンプル」を用意していますが、これらサンプルを元に作成する場合とオリジナルで作成する場合を解説します。

■サンプルオジェクトを使用する場合
「イージーパレット」-「オブジェクトライブラリ」-「DVDメニューライブラリ」-「メニュー画面」を参照してください。



適用したい「シーン」をドラッグ＆ドロップすると、画面上に配置されます。

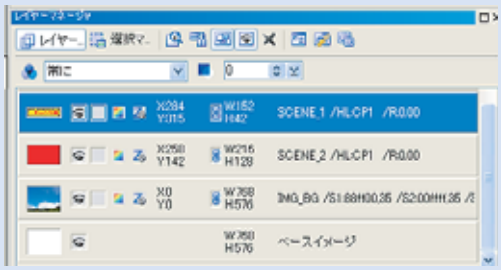
補足：
・「イージーパレット」のサンプルは、”S01”～”S05”が「シーン」に該当します。

配置されたオブジェクトは「レイヤーマネージャ」から確認することができます。

補足：
・4：3や16：9の画面比率の場合、シーンも同様の比率で作成してください。これを無視すると横長や縦長のシーン画面が作成されます。上記サンプルオブジェクトとして用意されているシーンはすべて4：3です。

■オリジナルでシーンを作成する場合
PhotoImpact 10で定義する画像は、シーンを作成する場合には、どのような画像を使われてもかまいません（テキストでも、切り取った画像でもかまいません）。

ただしオブジェクトの設定が”イメージ”に設定されていることが必要です。
右図のように「レイヤーマネージャ」で確認します。



■オブジェクトをイメージに設定する方法
「レイヤーマネージャ」には、各オブジェクトの属性がアイコンで表示されています。
右図で枠を囲んでいる部分が、属性を示すアイコンです。

パスで構成されている

テキストで構成されている

イメージで構成されている

属性を示すアイコン

変更する場合は、各レイヤーオブジェクトを選択して（青表示にして）、右クリックします。
右クリックメニューより、「オブジェクトの種類を変換（V）」を選択します。
「テキスト/パスからイメージへ」に設定すると、パスやテキストは、”イメージ”に変換されます。

ただし「DVD Workshop 2/Workshop 2 Professional」以外のDVD作成ソフトで適用する場合は、丸や楕円など四角以外の不規則な形でシーンを作成しても必ず四角で表示されますのでご注意ください。

補足：
・再生した場合、作成されたシーンの大きさで表示されます。不規則な形を作成した場合は、割り当てる動画は作成した比率に引き伸ばされますのでご注意ください。

4 - (2)シーンナンバーの設定

シーンナンバーはシーンに対して設定する数字のことです。
右側の例で説明すると、枠で囲まれている「1」や「2」の事を指します。
PhotoImpact 10上で、テキストツールを使用し文字を入力します。

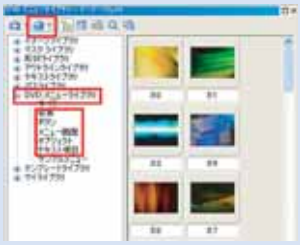
補足：
・使用するシーンナンバーは、シーンの数と同じ数だけ用意してください。
数が多くても少なくてもエラーになりますのでご注意ください。
また文字に境界線を設定するとエラーになります。

4 - (3)テキストの設定

DVDメニューのシーン（チャプター）下に挿入するムービーの名前やコメントを作成します。
（右図の赤枠の部分をご参照ください。）

（右の図は、「DVD MovieWriter 3」の画面ですが、初期値ではムービーのファイル名が表示されています）

「イージーパレット」-「オブジェクトライブラリ」-「DVDメニューライブラリ」-「テキスト項目」を参照してください。
「Enter text here」と表示されているオブジェクトをドラッグ＆ドロップで画面上に配置します。



補足：
・使用するテキストは、シーンの数と同じ数だけ用意してください。
数が多くても少なくてもエラーになりますのでご注意ください。
また文字に境界線を設定するとエラーになります。

・ここでは「Enter text here」で表現されていますが、各DVD作成ソフトでは「ここにテキストを追加・・」と表示されます。

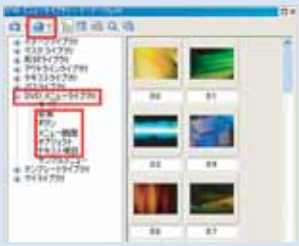
・「DVD Workshop 2 / Workshop 2 Professional」以外のDVD作成ソフトでは、境界線文字の装飾情報が破棄されエラーとなりますので、単純な文字入力か、「Enter text here」と表示されているオブジェクトをご使用ください。

4 - (4)タイトルの設定

ここではDVDメニューのタイトルを作成します。
（右図の赤枠の部分をご参照ください。）

（右の図は、「DVD MovieWriter 3」の画面ですが、初期値では「マイタイトル」とと表示されています）

「イージーパレット」-「オブジェクトライブラリ」-「DVDメニューライブラリ」-「テキスト項目」を参照してください。
「My Title」と表示されているオブジェクトをドラッグ＆ドロップで画面上に配置します。



補足：
・タイトルは画面上に１つだけ設定してください。
設定しない場合や複数設定した場合エラーとなりますのでご注意ください。
また文字に境界線を設定するとエラーになります。

・ここでは「Enter text here」で表現されていますが、各DVD作成ソフトでは「マイタイトル」と表示されます。

4 - (5)ページ番号の設定

DVDメニューのページ番号を設定します。
（右図の赤枠 ” 99/99 ” をご参照ください）

テキストツールを使用し文字を入力します

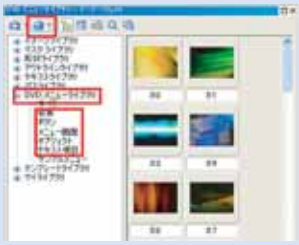
補足：
・入力する文字は必ず「 99/99 」と入力してください。
・フォントは自由に設定可能です。
・文字に境界線を設定するとエラーになります

4 - (5)ナビゲーションボタンの設定

DVDメニュー作成時にコントロールするナビゲーションボタン（ホーム/戻る/再生/次へ）のボタンを設定します。

■サンプルオブジェクトを使用する場合

「イージーパレット」-「オブジェクトライブラリー」-「DVDメニューライブラリー」-「ボタン」より好きなオブジェクトをドラッグ＆ドロップで画面上に配置します。



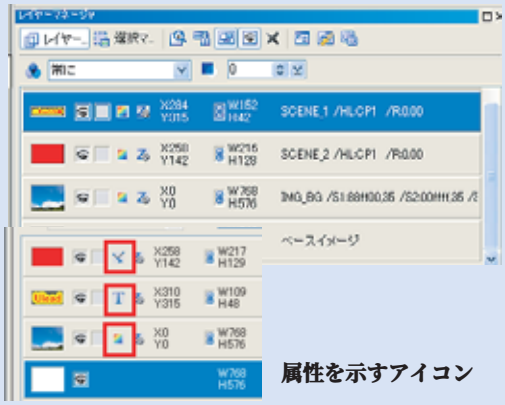
■オリジナルでナビゲーションボタンを作成する場合
ナビゲーションボタンはどのような画像も使用することができます。
（テキストでも、切り取った画像でもかまいません。）

補足：
・複数のオブジェクを組み合わせて作成した場合、必ずひとつのオブジェクトに ” マージ ” してください（例：▶ のような場合は、作成時に「四角い枠のオブジェクト」と「三角のオブジェクト」で構成されている場合）

マージ方法は、「レイヤーマネージャ」上の複数のオブジェクトを、キーボードの「Ctrl」を押しながら選択すると、必要なオブジェクトを複数選択します。その後、右クリックメニューより ” 1つのオブジェクトとしてマージ ” を選択します。

ただしオブジェクトの設定が、 ” イメージ ” に設定されていることが必要です。
「レイヤーマネージャ」で確認できます。

・オブジェクトをイメージに設定する方法
「レイヤーマネージャ」には、各オブジェクトの属性がアイコンで表示されています。右図で枠を囲んでいる部分が、属性を示すアイコンです。



属性を示すアイコン

パスで構成されている

テキストで構成されている

イメージで構成されている

変更する場合は、各レイヤーオブジェクトを選択して（青い表示にして）、右クリックします。
右クリックメニュー「オブジェクトの種類を変換（V）」を選択します。
「テキスト/パスからイメージへ」に設定すると、パスやテキストは、「イメージ」に変換されます。

5　DVDメニュープラグインの設定

前ページまでの作業で「DVDメニュー」作成の前準備が整いました。

今までの作業で設定した画面

次に、作業画面を保存します。
DVD メニューをリンク設定するためには、「UFOファイル」
（Ulead オブジェクト用ファイル）形式で保存します。

■ファイルの保存方法
1：画面左上の「ファイル（F）」から「名前を付けて保存」を選択します。
2：保存する場所は任意の場所を選択してください。
3：ファイル名は任意の名前を入力してください。
4：ファイルの種類は「UFO（Uleadオブジェクト用ファイル）」を選択します。
5：「保存」ボタンを押します。

以上で作成した画面は「UFOファイル」形式として保存されます。
この後、DVDメニューへのリンク作業を行います。

■DVDメニュープラグインの起動方法
「PhotoImpact 10」の「効果」→「DVD メニュー」→「DVD メニュープラグイン」を起動します。
「DVD メニュープラグイン」ウィンドウが開きます。

「DVD メニュープラグイン」

注意点：
エラーメッセージが表示され起動しない場合は次の点が考えられます。

1：UFOファイルとして保存していない場合
2：配置した画像がDVDのメニュー画面の設定より大きい場合
　→画面の大きさを「768X576」に設定してください。
3：配置した画像が基準のDVDメニュー画面サイズよりはみ出している場合
　→「レイヤーマネージャ」で各オブジェクトの座標（X/Y）を確認して修正してください。

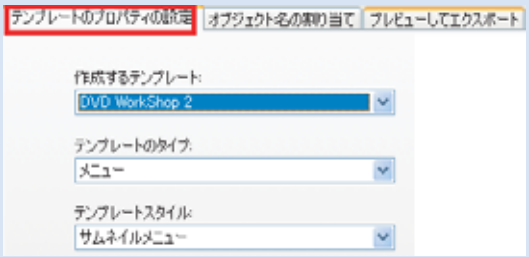
5 - (1)テンプレートプラグインの設定

■設定項目

1「作成するテンプレート」
”DVD WorkShop 2”を選択します。

2「テンプレートのタイプ」
”メニュー”を選択します。

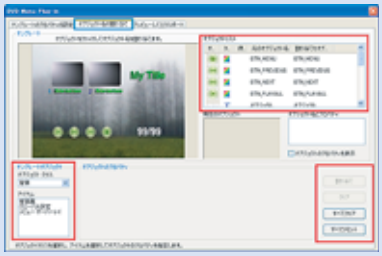
3「テンプレートスタイル」
”サムネイルメニュー”と”テキストメニュー”が選択できます。



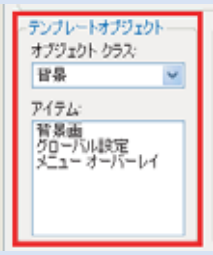
補足：
・「DVD MovieWriter」や「VideoStudio」で使用する場合は、必ず「サムネイルメニュー」で作業してください。

5 - (2)オブジェクト名の割り当て

設定した画像のリンクを設定します。
赤い枠で囲まれた部分が、作業を行うためにコントロールする部分です



■「オブジェクトクラス」と「アイテム」
画面左下の「テンプレートオブジェクト」で基本的な設定を行います。
項目は以下の通りになります。



オブジェクトクラス
背景（768X576ピクセルの背景イメージ）
↓
アイテム
背景画
グローバル設定
メニューオーバーレイ

オブジェクトクラス
シーン（シーン・テキスト・ページ番号）
↓
アイテム
シーンボタン
シーンハイライトイメージ
シーンフレーム
シーンテキスト
シーン番号

オブジェクトクラス
ナビゲーション（ホーム/戻る/再生/次へ/ボタン）
↓
アイテム
ナビゲーションボタン
ナビゲーションハイライトイメージ

オブジェクトクラス
その他（タイトル・ページ番号）
↓
アイテム
タイトル
ページ番号
装飾

5 - (2) - a 背景 - 背景画

【テンプレートオブジェクト】
オブジェクトクラス：背景
アイテム：背景画

バックグラウンドで使用する「背景画像」です。768X576ピクセル固定のサイズになります。

カラーマッピングは、DVDメニュー画面上にカーソルを当てたときに、
表示される色合いのことを意味しています。これらの設定は、
次の「グローバル設定」に反映されます。

背景ビデオ　メニューの背景ビデオを設定するときにときに使用しますが、「VideoStudio や DVD MovieWriter」では、
設定を行わないでください。
（「VideoStudio や DVD MovieWriter」上で設定します）

背景オーディオ　メニュー表示時のBGMを設定する時使用しますが、「VideoStudio や DVD MovieWriter」では、
特に設定を行わないでください。
（「VideoStudio や DVD MovieWriter」上で設定します）

各設定が終了したら、「割り当て」のボタンを押します。
画面右端の「オブジェクト名とプロパティ」に反映されます。

補足：
・設定する場合は「オブジェクトリスト」で使用する画像を選択した状態で、
「背景」を選んで設定してください。

5 - (2) - b　背景 - グローバル設定

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：背景
　アイテム：グローバル設定

グローバル設定では「カラーマッピング効果」をメニュー全体に割り当てます。

補足：
・「VideoStudio」や「DVD MovieWriter」では、この機能を「なし」に指定した場合でも、「カラーマッピング効果」は反映されます。何も設定しないで「割り当て」を行ってください。

5 - (2) - c　背景 - メニューオーバーレイ

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：背景
　アイテム：メニューオーバーレイ

背景を動画に設定します。

ただし、背景動画の変更が可能な場合には、各アプリケーション側で個別に設定を行うことが出来ますので、「VideoStudio」や「DVD MovieWriter」で使用される場合は、本設定を行う必要は特にございません。

5 - (2) - d　シーン - シーンボタン

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：シーン
　アイテム：シーンボタン

DVDメニュー上のシーンボタン（チャプター）の仕様を設定します。

ボタン番号　　それぞれのシーンに番号を割り当てます。
　　1番～32番まで設定できます。（DVDの規格数の上限です）

カラーマッピング　　メニュー上でそのシーンを指しているときに表現される色を設定します。
　　CP1～CP3まで3種類は、「背景画」の「カラーマッピング」を表示しています。
　　「I（ハイライトイメージを使う）」設定は、次のシーンハイライトイメージ設定を設定するときに使用します。

回転角度　　表示している画像を回転することができます。+180度から-180度までの360度設定が可能です。

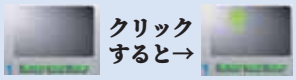
補足：
・各指定するオブジェクトを選択し設定終了ごとに、「割り当て」ボタンを押してください。
・シーンは必ず1番2番3番・・とシーン番号が重複しないように設定してください。

5 - (2) - e　シーン - シーンハイライトイメージ

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：シーン
　アイテム：シーンハイライトイメージ

DVDメニューでシーン画像を選択したときに表示される画像です。
右図の画面のように、オブジェクトを配置することにより設定が可能です。

シーンハイライトイメージ



これらはイージーパレットの「オブジェクトライブラリ」-「DVD メニューライブラリ」-「オブジェクト」よりドラック＆ドロップで配置することができます。
（PhotoImpact 10で作成したオブジェクトでも可能です）

補足：
・指定したオブジェクトは、右図のように必ず半透明のオブジェクトのみに変わります。
・複雑なオブジェクトを配置されても外枠を表現するだけです。オブジェクト効果そのままを発揮できませんのでご注意ください。
・本機能が有効なのは「DVD MovieWriter 3」になります。「VideoStudio」や「DVD MovieWriter 2」では適用できません。

5 - (2) - f　シーン - シーンフレーム

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：シーン
　アイテム：シーンフレーム

シーンの周りに配置するフレーム（枠）の設定を行います。

イージーパレットの「オブジェクトライブラリ」-「DVD メニューライブラリ」-「メニュー画面」の「F＊＊」の項目のオブジェクトをドラック＆ドロップすると設定されます。

補足：
・フレームを適用する場合は、必ず全てのシーンに対してフレームを設定してください。
（フレームなしのシーンと、フレームありのシーンは混在することができません）

5 - (2) - g　シーン - シーンテキスト

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：シーン
　アイテム：シーンテキスト

DVDメニューのチャプター下に挿入するムービー名前のコメントを作成した場合の設定を行います。

・ボタン番号　　シーンと同じ番号を設定してください。

・カラーマッピング　リモコン（またはカーソル）がシーンあわせた時に表示する色を設定します。
「I（ハイライトイメージを使う）」設定は、「ハイライトイメージ設定」をするときに使用します。

補足：
・イージーパレットの「オブジェクトライブラリ」-「DVD メニューライブラリ」-「テキスト項目」内のオブジェクトで境界線を持っていないオブジェクトは「T01-1～T05-1とT14-1」になります。
他のオブジェクト境界線を持っている場合は、境界線を外して使用してください。
-境界線の確認方法-
オブジェクト選択した状態で、PhotoImpact 10の「テキストツール」を選びます。
画面上部の属性ツールバーの「境界線」チェックが入っている場合は、文字に境界線が適用されている状態です。
「DVD Workshop 2 / Workshop 2 Professional」以外のDVD作成ソフトで使用する場合は、チェックを外してください。

5 - (2) - h　シーン - シーン番号

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：シーン
　アイテム：シーン番号

シーン番号は、シーンに対して設定する数字のことで、右図のように「1」や「2」の事を指します。
各数字を選択して割り当てを行います。

・ボタン番号　　シーンと同じ番号」を設定してください。

・カラーマッピング　リモコンがシーンに表示されたときに表示する色を設定します。
「I（ハイライトイメージを使う）」設定は存在しません。

補足：
・シーン番号は必ず入力したテキスト番号（1番2番3番・・等）と、同じ数字に番号を割り振ってください。

5 - (2) - i　ナビゲーション - ナビゲーションボタン

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：ナビゲーション
　アイテム：ナビゲーションボタン

DVDプレーヤー操作時にコントロールするナビゲーションボタン
（「ホーム/戻る/再生/次へ/」等のボタン）を設定します。

・オブジェクト名
　BTN_MENU　　メニュー画面の「ホーム」を意味します。
　BTN_NEXT　　メニュー画面の「次へ」を意味します。
　BTN_PLAYAll　メニュー画面の「再生」を意味します。
　BTN_PREVUOUS メニュー画面の「戻る」を意味します。

・カラーマッピング
　リモコンがシーンに表示されたときに表現される色を設定します。
　「I（ハイライトイメージを使う）」は次の「ナビゲーションハイライトイメージ」を使用する場合に設定します。

5 - (2) - j　ナビゲーション - ナビゲーションハイライト

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：ナビゲーション
　アイテム：ナビゲーションハイライト

ナビゲーションボタンにマウスをあわせた時に表示されるオブジェクトの設定を行います。

イージーパレットの「オブジェクトライブラリ」-「DVD メニューライブラリ」-「オブジェクト」をドラック＆ドロップすると
設定されます（PhotoImpact 10で通常通りに切り抜いたり、作成したオブジェクトでも可能です）

補足：
・指定したオブジェクトは、右図のように必ず半透明のオブジェクトのみに変わります。→
・複雑なオブジェクトを配置されても単色で塗りつぶされた状態で表現されます。
・本機能が有効なのは「DVD MovieWriter 3」になります。「VideoStudio 8」や「DVD MovieWriter 2」では適用できません。

5 - (2) - k　その他

【テンプレートオブジェクト】
　オブジェクトクラス：その他
　アイテム：ナビゲーションハイライト
　　タイトル
　　装飾

「タイトル」「ページ番号」「装飾」を割り当てます。

-タイトル
右図のようにDVDメニューのタイトルを設定します。

-ページ番号
DVDメニュのページ番号を設定します。

-装飾
その他のオブジェクトを設定します。単純に背景と同じように固定のオブジェクトが設定されます。
また、「アニメーションをつかう」を選ぶと、Gifアニメーションの画像を設定することができます。

補足：
・装飾は「DVD WorkShop 2 / DVD WorkShop 2 Professional」で有効になります。
　「VideoStudio」や「DVD MovieWriter」で使用すると、情報は破棄されエラーになりますのでご注意ください。

5 - (3)プレビューをしてエクスポート

前ページまでの設定を全て完了し、「プレビューをしてエクポート」タブをクリックすると
全体の画面が表示されます。

設定が正しく適応されていない場合は、
画面下にリンクエラーメッセージが表示されます。

設定した場合のリンク状態（例）→

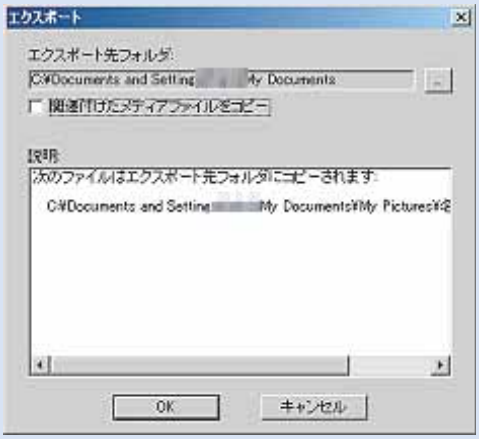
設定に問題が無い場合は、画面右下の「エクスポート」をクリックします。

一度作成したメニュー画面をPhotoImpact 10で再度変更した場合、
「サムネイルを更新」にチェックを入れた状態で「エクスポート」
をおこなうと、更新後の画像を含めて作成します。

＊「エクスポート」（出力先）について
初期設定での保存先は、「マイドキュメント」-「マイ ピクチャ」に、
*.UFO（Uleadオブジェクト用ファイル）ファイルとして保存されます。

保存が終了したら、「閉じる」を押して終了となります。

PhotoImpact 10の画面に戻り、現在設定したDVD メニュー画面を閉じてください。
「変更を保存しますか？」と聞かれ保存する場合は、”はい”を選択します。



6 作成したDVDメニューファイルを他のDVD作成ソフトで使用する

「DVD MovieWriter 3」や「VideoStudio 8」と「DVD WorkShop 2 / WorkShop 2 Professional」に、作成したDVDメニューを反映させる場合、それぞれのアプリケーションにより格納する場所が異なります。
（詳しくは次ページより各アプリケーション別にご紹介します。）
また「DVD WorkShop 2 / WorkShop 2 Professional」にはこの作業は発生しません。

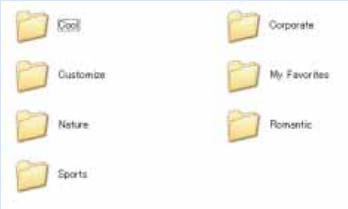
ユーリードの各アプリケーションは初期値の場合は、必ず下記場所にインストールされています。
C:\Program Files\Ulead Systems\・・・

補足：
・ユーリードの各アプリケーションのインストール先をご自身で変更されている場合は、この限りではありません。

7 DVDメニューファイルの使用方法(1)　DVD MovieWriter 2 LE

DVD MovieWriter 2 LEにおいて作成したDVDメニュー（例：abc.ufo）ファイルを使用する場合は、
”C:\Program Files\Ulead Systems\Ulead DVD MovieWriter 2 LE\Template”内の各フォルダへコピーまたは移動します。
（インストール先を変更していない場合）

格納できる場所は以下の場所になります。



-フォルダ名-	-DVD MovieWriter 2 LE　内のテンプレート名-
”Cool”	クール
”Corporate”	インダストリー
”Nature”	自然
”Romantic”	ロマンチック
”Sports”	スポーツ
”My Favorites”	お気に入り

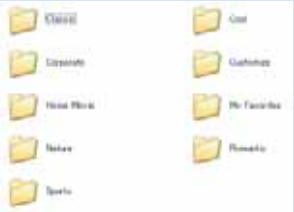
上記フォルダ内に移動したDVDメニュー（例：abc.ufo）ファイルはDVD MovieWriter 2 LEのメニューテンプレートとして
使用することができます。

注意：
・上記フォルダ内に存在するファイル名と同じ名前で保存し使用することはできません。
・上記フォルダ以外の場所に別のフォルダを作成して保存されてもDVD MovieWriter 2 LEでは使用できません。
・”Customize”フォルダに作成したDVDメニューファイルを移動しても、使用することはできません。
・”Customize”フォルダ内のファイルをPhotoImpact 10で作成することはできません。

7 DVDメニューファイルの使用方法(2) Ulead VideoStudio 8

Ulead VideoStudio 8において作成したDVDメニュー（例：abc.ufo）ファイルを使用する場合は、
”C:\Program Files\Ulead Systems\Ulead VideoStudio 8.0\Template”内の各フォルダへコピーまたは移動します。
（インストール先を変更していない場合）

適応できる場所は以下の場所になります。



-フォルダ名-	-Ulead VideoStudio 8　内のテンプレート名-
”Classic”	クラシック
”Cool”	クール
”Corporate”	企業
”Home Movie”	ホームムービー
”Nature”	自然
”Romantic”	ロマンチック
”Sports”	スポーツ
”My Favorites”	お気に入り

上記フォルダ内に移動したDVDメニュー（例：abc.ufo）ファイルは「Ulead VideoStudio 8」のメニューテンプレートとして
使用することができます。

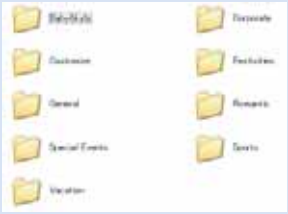
補足：
・上記フォルダ内に存在するファイルと名と同じ名前で保存し使用することはできません。
・上記フォルダ以外の場所に別のフォルダを作成して保存されてもUlead VideoStudio 8では使用できません。
・”Customize”フォルダに作成したDVDメニューファイルを移動しても、使用することはできません。
・”Customize”内のファイルをPhotoImpact 10で作成することはできません。

7 DVDメニューファイルの使用方法(3) DVD MovieWriter 3/3 SE

DVD MovieWriter 3/3 SEにおいて作成したDVDメニュー（例：abc.ufo）ファイルを使用する場合は、
”C:\Program Files\Ulead Systems\Ulead DVD MovieWriter 3\Template”内の各フォルダへコピーまたは移動します。
（インストール先を変更していない場合）
（DVD MovieWriter 3 SE”の場合はC:\Program Files\Ulead Systems\Ulead DVD MovieWriter 3 SE\Template”）

-フォルダ名-　　-DVD MovieWriter /3 SE　内のテンプレート名-

”Baby&Kids”　　ファミリー
”Corporate”　　企業
”Festivities”　　フェスティバル
”General”　　全般
”Special Events”　スペシャルイベント
”Vacation”　　休暇
”Romantic”　　ロマンチック
”Sports”　　スポーツ
”My Favorites”　お気に入り



上記フォルダ内に移動したDVDメニュー（例：abc.ufo）ファイルはDVD MovieWriter 3/3 SEのメニューテンプレートとして使用することができます。

補足：
・上記フォルダ内に存在するファイル名と同じ名前で保存し使用することはできません。
・上記フォルダ以外の場所に別のフォルダを作成して保存されてもDVD MovieWriter 3/3 SEでは使用できません。
・”Customize”フォルダに作成したDVDメニューファイルを移動しても、使用することはできません。
・”Customize”フォルダ内のファイルをPhotoImpact 10で作成することはできません。
・シーンや背景を、動画に差し替える機能はDVD MovieWriter 3/3 SEのメニュー設定で作業をおこないます。

7 DVDメニューファイルの使用方法(4) DVD Workshop 2 / DVD Workshop 2 Professional

「DVD Workshop 2 / DVD Workshop 2 Professional」へDVDメニューファイルを保存する場合は、これまでの方法とは異なります。

DVD Workshopを起動し「メニュー」のステップで「サムネイルメニュー」を選択します。
”通常のメニューテンプレートファイルを読み込み”より作成したDVDメニューファイルを選択して読み込みます。

PhotoImpact 10で作成したアイコンを使用する場合

「DVD Workshop 2 / DVD Workshop 2 Professional」では「PhotoImpact 10」で作成した画像を登録することができます。

PhotoImpactで作成するUFOファイル（Uleadオブジェクト用ファイル）は背景を透過する事が可能ですので自由な形状でデザインすることができます。

補足：
・２つ以上のオブジェクトを使用する場合は、１つのオブジェクトにマージする必要があります。

詳しい作業方法は、「ナビゲーションボタンの設定」をご参照ください。

8 DVDメニューを使用する場合の注意点

DVDメニューファイルを「DVD MovieWriter 2LE」や「DVD MovieWriter 3」「Ulead VideoStudio 8」で使用する場合は、メニューを配置する場合にいくつかの注意点があります。

ボタン配置は「縦」か「横」の一列配置でレイアウトする。

PhotoImpact 10では自由にメニュー画面を作成して出力することは出来ますが、「DVD MovieWriter 2LE」「DVD MovieWriter 3」「Ulead VideoStudio 8」ではシーン（チャプター）は縦あるいは横で一列均等に並んでいないと正常に表示されません。

例：表示可能なパターン

横の場合

縦の場合

■PhotoImpact 10で正確に縦横のレイアウトを設定する方法

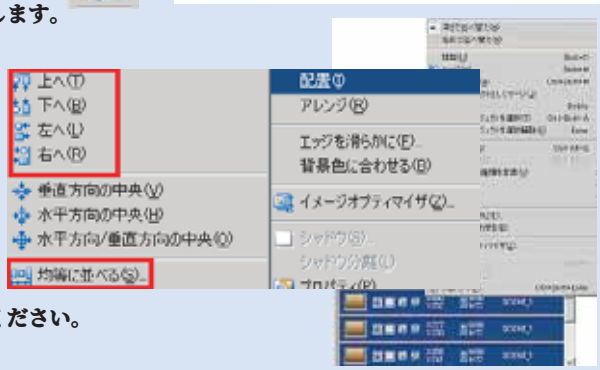
オブジェクト縦と横の位置がバラバラの場合、
a.これらのオブジェクトを、すべて選択します。
（レイヤーマネージャ上でキーボードのCtrlを押しながら、各オブジェクトを選択していきます。）

b.使用するオブジェクトが「点線の枠」で囲まれます。
（標準選択ツールの状態で作業をおこないます）

c.レイヤーマネージャ上で選択されたオブジェクト上を、右クリックします。
「配置」を選んでください。使用するのは赤い枠で囲まれた部分です。

d.「上へ」「下へ」「左へ」「右へ」にて、オブジェクトの位置をあわせます。

「均等に並べる」は、全体的に水平方向と垂直方向に間隔をあわせます。



この方法を用いて、オブジェクトを「縦」あるいは「横」に配置してください。

シーン番号 シーンテキスト ページ番号 タイトルは、適切なフォントで使用する。

PhotoImpact 10では文字を設定するときに様々なフォントを使用できますが、「DVD MovieWriter 2LE」「DVD MovieWriter 3」「Ulead VideoStudio 8」にて表示した場合うまく表示できない場合があります。

そのような場合はPhotoImpact 10で各文字のフォント状態をご確認ください。
（My Title部分は、各DVD作成ソフト側で文字の再入力をおこなわない限り、反映されません）

テキスト情報の変更方法
作成したテキストを「標準選択ツール」で選択して「テキストツール」をクリックします。
画面上部の属性ツールバーよりフォントの種類を変更してください。

補足：
・Windowsでは標準装備されている「MS P ゴシック」や「MS P 明朝」を使用すると正常に表示されます。